

高級住宅専門誌  
月刊 アイムホーム 13・5・7・9・11月の各16日発売  
high end design and lifestyle

# I'm home.

2018  
NOVEMBER

96

[www.imhome-style.com](http://www.imhome-style.com)

## Home Delightful Interior

空間を立体的につなぐ  
高低差のある住まい

ACCENT  
FURNITURE

indoor green  
HOME

植物を楽しむインテリア



上：神奈川・茅ヶ崎に立つ木造のビビック＆ディイングル・チャツン（CH340m × 400m）は、窓面の透かしや梁の内張りなど、見るところを細々と演出。内装は一派アーバン・クラシック風。壁紙などはアーバン・クラシックデザインのオールドペーパー。床材はシラカバ無垢で、天井はガルバニズム。天井のビビックの高さは400mmで、レベル感を保け、貴重な素材で仕上げているため、ワントームをがらんとした空間がゾーンングされている。

右：ダイニングの内側には、オーブンシェルフ（W2000mm × D200mm × H1420mm）。左側、棚板の厚い10mmとギューレームをたてて耐震性を

実現。小口は白。棚の内壁は墨でペイントしてモノトーンにしたため、2色やオブジェが増えまる

# home delightful interior

こだわりのインテリアに囲まれて暮らす



豊かな緑をフレーミングする開口、室内に用いた質感豊かな素材、気に入りの家具……。美しく心地良いと感じる住まいは、空間を取り巻くさまざまなエレメントが競り合うように、建築とインテリアの調和がとれているもの。そのような住まいをかなえるためにはインテリアの明確なイメージをもち、それに合わせてボリュームやディテールといった空間もデザインすることが大切だ。今回は、素材使いや家具にこだわった個性的な住宅実例2軒を紹介する。



西内側に面された外階段は、迷路案の小道。大きさと重デザインアーティストの柴田千恵さん、二人の子供さんが暮らすアパート。二階は開放的な居住空間で、シーザー付暖房の操作は、床暖や暖炉替人という2種類のシステムが併せてあります。千葉平野を望む美しい景色とともに気持ちいい(涙)。変わらぬ古いものから新しいものまで、ここでも良きものが豊富です。更衣室の前にスリード貼りとしたアプローチが、建物の小尺度感を引き立てます。正面に見えるのは約30坪のテラスで、その奥面がエントランスとなる。玄関、窓、扉を駆けたガーデンの内にあるエントランス、庭に面したスレート屋根のルーフバルコニー、木製床面や壁面をコーディネートすることで、質感豊かな空間をつくりました。エントランスの壁面は、ダイニンガーランドになれる。

## 豊かな緑と響き合う クラシカルモダンなインテリア

Ogata Residence Chigasaki-shi, Kanagawa

Architecture : KONARA HOUSE

Photographs : Nozasa & Partners Text : I'm home.





ガーデンに隣接したリビング(UD)1000mm~5100mmを2箇所の床下から足下ろす。壁は清いグレーベニアでハイドント、窓枠やモールディングは白い。ガーネットリビングをつなぐアメリカ・Maven Windowsの様子。壁やカーテン、ソファ、枕等は、JADE HOMEのもの。

井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追究する」という立場で、窓以外に見える外装色が内装色となり、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。  
HOME 「運営された施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」「運営せられた施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」  
井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。  
HOME 「運営された施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」  
井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。

(写真:柳川一)



井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。  
HOME 「運営された施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」  
井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。  
HOME 「運営された施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」  
井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。

井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。  
HOME 「運営された施設を離れた、第一回で、外へと運ばれるばかりの施設」  
井倉川一「茅ヶ崎を中心とした暮らし方を追求する」という立場で、窓枠内外へと伸び変わった窓枠」。



上：ワンルームでつながるリビング＆ダイニングキッチンの廚房は壁面中央に、壁面TV(1850mm×0170mm×H440mm)を設置。壁面TV背面約60mmの空間とパラレル式としたため、ボリューム感のあるマンドリンピアノを設置。テレビの裏側は「AMM」のストップモーションアニメーション用の撮影セット。壁面TV背面のガラス窓は、各部屋をつなぐ廊下の「ツタガ谷」をつなぐ窓。テレビの裏側の窓から外へ見ると、そのため、壁面TVはビックリする位置にあります。その下部にあたる高さ400mmのスクエアを設置しましたとして活用している。左：リビングとダイニングを繋ぐリビング。壁工面材は木目調で、西側の入り口を開いていたため、床は防水性のメンテナンス性を考慮した防水カーペットを採用。右：リビング奥壁。ここでモチーフの瓦版や真鍮の両サイドランプをつけています。ダイニングテーブルはオーク材で製作。イスはハイチアは、アメリカ「DR.Ding's」もの。

左頁：ダイニングの南側には設置するキッチン(OH3400×5500mm)、「鏡と一緒に料理したい」と考えた鏡台子(左)と、L型のモチーフカウンター(W2550×3470mm×D700×H700mm×H400mm)とダイニング型カウンター(W1350mm×D1000mm×H900mm)を組み合わせて設置。鏡台子は、鏡を複数枚、マウントカウンターの鏡板底板の260mm程度にして、軽やかさを引き出した。鏡台裏は、鏡という鏡の反射が大きめで、私好みの鏡仕様。キッチンは、鏡台子のモノトーンでコーディネート。IHヒーターの高さも手。床側壁面は墨の600mm角の磁磚タイルで、壁に上げてアーチナースを背景に。一方、映し出せる壁であるダイニングのシングル窓に、右の雨樋遮断装置を設けました。

駐車場の壁面に仕立てた

この間はもう少しおこごとを發展させたフレイアルーム。廊下には、家族で使われるスマートルーム（CHILL ROOM）があり、静かに就寝するための部屋として使われます。また、窓から見える外の風景を楽しむための窓側の部屋として使われます。この間は、木の温もりを感じながら、おもいの読物を読んだり、リラックスする空間です。



のは、夫婦の好みが反映されたハイブリッドだ。[ハイブリット]ヨーロッパ・カルチャーコンソーシアムでは、「建築の多様な文化」に対する「高い田舎精神」が「高い技術」をもつて、実現する。それは、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。つまり、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。

トヨタ・ヨーロッパ・カルチャーコンソーシアムでは、「技術的豊富さ」と「アート性」をもつて、実現する。それは、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。つまり、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。

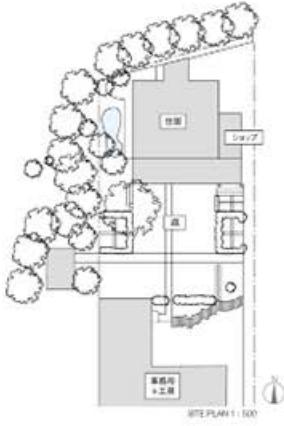
トヨタ・ヨーロッパ・カルチャーコンソーシアムでは、「技術的豊富さ」と「アート性」をもつて、実現する。それは、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。つまり、技術者ならではの「技術的豊富さ」と、建築家ならではの「アート性」をもつて、実現する。



ダイニング北側に直角したオープンシェルフ。横み60cmの棚板でグリッドを組み、上部にホールディングを設けて、中央に上置の市で見つけた日本迷路の模型で用いられた装飾を合わせている。上部は吹き抜けを介してつながる3階廊下。オープンシェルフの右側が洗面スペース。左手はバスルームや寝室室につながり、オープンシェルフを中心とした活動動線を描いている。



上：ダイニング跡の通路（H900mm）隣に、住まいの外観に相応しいスタイルをもたらす、木の質感の洗面室となり、オーブンをレンジ式とダブル窓で、キッチンと並べてプライベート性の高い空間となる。浴室や洗面スペースの床面は高耐久性で、滑り止めタイル貼りの床を採用。洗面台の柱木に選ばれた開拓的でハーフルーム（H1000～300mm）、其の外で鏡をハーフミラーに変じてW、幅2000mm、高さ1800mmのFIXガラスを採用。ドイツ・KALDEWEIのバスタブを組み込んだ西側の吹き出しきを900mm上げた。壁面には同じくうど石を張り、壁すき間をながらゆいたりとしたバスルームを演出する。実戸は木の質感のドア一括仕上げ



COMMON  
DINING  
KITCHEN  
EXCHANGER  
ETC  
OPENING ROOM  
KITCHENING ROOM  
BEDROOM  
BATHROOM  
BEDROOM  
BEDROOM  
BEDROOM  
BEDROOM



DATA

構造と規模／木造、地上2階建て  
敷地面積／406.56m<sup>2</sup>  
建築面積／103.52m<sup>2</sup>  
延床面積／106.60m<sup>2</sup> 2860.51m<sup>2</sup> 合計147.11m<sup>2</sup>  
実施階数／2階 廊下(40代) 客室子(140代) 客室(111度) 客室(10度)  
内装計画／J204段に相当



主寝室の南側に設けた約6mのウオーカスルーム。扉を開けるとケーシングのみとすることで間接感を醸し、ベッド奥から見える窓、壁面をものぞみ見えないようにケーシングの正面には隠されたキャビネットを置いて、フローリング内は友手の深いインセリットを中心で畳面材とすることで、重い感じもないデザインに。



上：主寝室(CH:200cm)は1階西側に、黒をベースにしたコートミートで、リラックスして休めるよう配慮。ヘム村でつくった特注ベッドサイドテーブルの上に、スラードテープラングワールでエレガントな印象だ。ドレープカーテンがかった北面の開口の先はアーチラス。左：主寝室に隣接したアシモテラスは、住まいが完成した後についたもの。デイベッドに身を包み、森林浴を楽しむ。